

保証書

持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
(ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
(ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
(ホ)本書のご提示がない場合
(ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
(ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
(チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	DVDプレーヤー 250			★お買い上げ日：	年	月	日
型番	DVD-250N	品番	03-6500	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)			
お客様	ふりがな						
	★お名前						
	★ご住所 〒						
電話 ()							

修理メモ

販売店	★住所 店名 電話
	(印)

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ	
●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは	
0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

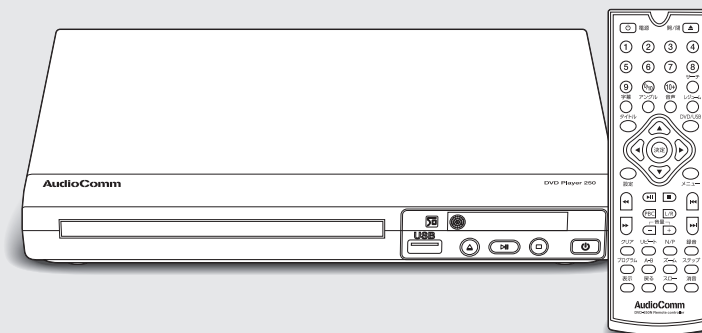
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

AudioComm®

DVDプレーヤー 250

型番：DVD-250N 品番：03-6500

保証書付 取扱説明書



このたびは、AudioComm® DVDプレーヤー 250を
お買い上げいただき、誠にありがとうございました。

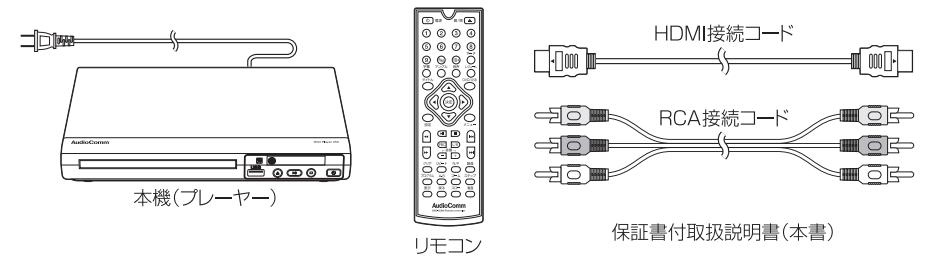
本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

目次	
はじめに	タイトルメニューを表示する……………18
同梱物をご確認ください	ディスクメニューを表示する……………18
免責事項	PBCメニューを表示する……………19
著作権について	音声チャンネルを切り換える……………19
本書の図版及び操作説明について	リピートモードを設定する……………19
結露について	A-Bリピートを設定する……………19
磁気や電磁障害について	拡大・縮小表示する……………19
安全上のご注意	コマ送りする……………19
本機で再生できるメディアについて	プログラム再生をする……………20
再生可能なメディア	再生中のチャプター(ファイル)情報を表示する……………21
日本語表示について	スロー再生を設定する……………21
メディアの構成について	音楽・音声を再生する
ディスク取り扱い上の注意点	基本操作……………22
各部の名称と主な機能	早送り……………22
リモコンについて	早戻し……………22
操作方法	前後のトラック(ファイル)にスキップする……………23
乾電池の入れかた	トラック(ファイル)番号を指定してスキップする……………23
接続のしかた	サーチボタンを使う……………23
家庭用電源との接続方法	リピートモードを設定する……………24
テレビとの接続方法	A-Bリピートを設定する……………24
電源のオン/オフ	再生中のトラック(ファイル)情報を表示する……………24
スクリーンセーバーと自動電源オフ機能	音声チャンネルを切り換える……………24
メディアの装着方法と取り出しかた	プログラム再生をする……………25
ディスク(DVD・CD)を装着するとき	画像を再生する
USBメモリーを装着するとき	基本操作……………26
ディスクとUSBメモリーの切換方法	前後の画像(ファイル)にスキップする……………26
レジューム再生について	サーチボタンを使う……………26
メディアごとの初期動作	画像(ファイル)番号を指定してスキップする……………27
映画などの市販DVD(DVD-Video)を装着したとき	リピートモードを設定する……………27
音楽などの市販CD(CD-DA)を装着したとき	ワイプスタイルを変更する……………27
ご自身で作成したメディア(DVD-R、DVD-RW、CD-R、CD-RW、USBメモリー)を装着したとき	拡大・縮小表示する……………27
リスト画面でのカーソルボタンの操作	回転・反転表示する……………27
ディスプレイ表示とボタン操作時のテレビ画面表示	再生中の画像(ファイル)情報を表示する……………28
映像・動画を再生する	プログラム再生をする……………28
基本操作	USBメモリーにファイルをコピーする……………29～30
早送り	USBメモリーにCD-DAをコピーする……………30～31
早戻し	USBメモリーのファイルを削除する……………32～33
前後のチャプター(ファイル)にスキップする	設定メニュー
チャプター(ファイル)番号を指定してスキップする	基本操作……………34
サーチボタンを使う	設定メニューの内容……………35～39
字幕を切り換える	故障かなと思ったら……………40
アングルを切り換える	お手入れのしかた……………41
音声言語を切り換える	主な仕様……………41
	保証書とアフターサービスについて……………42
	保証書……………裏表紙

はじめに

同梱物をご確認ください

お使いになる前に内容をご確認ください。



免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

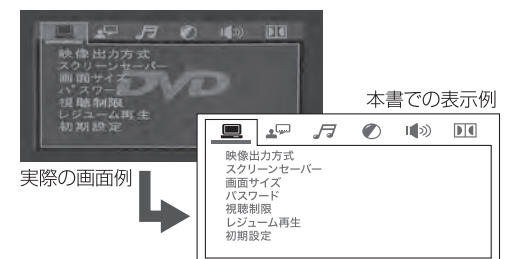
- 弊社の責任によらない製品の損傷や破損、または改造による故障や不具合
- 取扱説明書(本書)を守らないことによって生じた破損、故障、その他の損害
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常
- 落下、衝撃、圧力、負荷などの外的要因や火災、地震、落雷、風水害などの自然災害、消耗・劣化による本製品の故障
- 関連装置との互換性や、記憶媒体・データの状態によって生じた本製品の利用機会の損失

著作権について

放送やレコードその他の録画・録音物(DVD、CD、ビデオ、ミュージックテープ、カラオケテープなど)の作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録画・録音したものは個人として楽しむなどの場合は著作権法上、権利者に無断で使用できません。

本書の図版及び操作説明について

- 画面表示の説明で使用している図版は、分かりやすくするため簡略化しており、実際のものとは異なります。また、図版に示したマークや文字、それらの表示位置、内容などは、再生するメディアによって異なる場合があります。
- 本書では、主にリモコンでの操作を説明します。本機(プレイヤー)でも操作が可能な場合は、その都度、補足します。



結露について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起きます。この状態でご使用になると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して、数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

磁気や電磁障害について

磁気の影響を避けるため、磁石や磁石を使用した機器を本製品に近づけないでください。また、電磁波の影響を避けるため、携帯電話や電磁波を発生する機器を本製品に近づけないでください。映像の乱れや雑音、データ消失のおそれがあります。

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって2段階で表示しています。



警告



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家具に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
左図の場合は「感電注意」が描かれています。

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
左図の場合は「分解禁止」が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

警告			
 コンセントから抜く	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く	 水かけ禁止	本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使わない
	●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。		●浴室や洗面所、台所などでは使わないでください。
 電池に注意	●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。	 修理を依頼する	電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する
	万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く		●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 分解禁止	●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。	 接続場所を選ぶ	●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
	●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。		電源プラグはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続し、異常が発生した場合は速やかにコンセントから抜く
 接触禁止	リモコンから乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する	 禁止	●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。
	●必ず小さなお子様の手が届かない場所に保管してください。		●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。
分解、修理、改造しない		通気口をふさがない	
●火災・感電の原因となります。		●内部に熱がこもり、故障や火災の原因となります。	
雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない		子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところに置かない	
●感電の原因となります。		●感電やけがの原因となることがあります。	
業務用途には使わない		ぬれた手で操作しない	
●過負荷による故障の原因となり、火災や感電のおそれがあります。		●感電の原因となることがあります。	

3

警告			
 禁止	船舶などの直流DC電源には接続しない	 禁止	自動車内で本機を使わない
	●火災の原因となります。		●故障や交通事故の原因となります。
	表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない		狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本機や電源コードを新聞紙やテーブルクロス、カーテン、布団、敷物などで覆わない
 禁止	●火災・感電の原因となります。	 禁止	●熱がこもって変形したり、火災の原因になることがあります。
	本機の上に花瓶などの水が入ったものや火のついたロウソクなどを置かない		●コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
 禁止	●火災・感電の原因となります。	 禁止	●コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない		●コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
 禁止	●破損して火災・感電の原因となります。	 禁止	●コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
	●破損して火災・感電の原因となります。		●コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

注意			
 コンセントから抜く	お手入れの際や移動させるとき、長期間使わないときは電源プラグをコンセントから抜く	 高温注意	高温部に注意する
	●火災・感電の原因となることがあります。		●長時間の使用により、背面、底面が高温になる場合があります。
 指を挟まれないように注意	お子様がディスプレイ内に手を入れないように注意する	 禁止	長時間、再生画面を見続けけない
	●けがの原因となることがあります。		●目の疲れや視力低下の原因となります。
 音量を抑える	大音量で聴き続けけない。電源を切る前に音量を抑える		●体の一部に不快感や痛みを感じたときはすぐに使用を中止し、休憩してください。
	●大音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。		電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない
 掃除をする	●大音量のまま電源を切ると、次に電源を入れたとき、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。	 禁止	●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する		●必ずプラグ部を持って抜いてください。
 ぬれ手禁止	●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。	 禁止	電源コードを熱器具に近づけない
	●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。		●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
ぬれた手で操作しない		破損・変形したディスクや補修したディスクは使わない	
●感電の原因となることがあります。		●けがをするおそれがあります。	
●感電の原因となることがあります。		●回転中のディスクには絶対に触れないでください。	
●感電の原因となることがあります。		落としたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない	
●感電の原因となることがあります。		●故障や破損の原因となります。	
●感電の原因となることがあります。		シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない	
●感電の原因となることがあります。		●変形・変色の原因となります。	

4

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意		
 禁止	窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。	 禁止
	ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	
		ほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。 暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない ●破損・故障の原因となります。 日本国以外では使用しない ●本製品は日本国内専用です。

本機で再生できるメディアについて

再生可能なメディア			
ディスク/メディア	フォーマット/ファイル形式	サイズ	備考
映画などの市販DVD	DVD-Video	12cm	リージョンコード   
DVD-R、DVD-RW	映像・動画：MPEG1、MPEG2、MPEG-4 (AVI形式 720×480/576対応) 音楽・音声：MP3、WMA 画像：JPEG		CPRM対応 ファイナライズ処理されていないディスクは再生できません。
音楽などの市販CD	CD-DA	12cm 8cm	———
CD-R、CD-RW VCD(ビデオCD)	音楽・音声：MP3、WMA 画像：JPEG ※VCDはMPEG-1	12cm	ファイナライズ処理されていないディスクは再生できません。
USBメモリー	USB2.0 FAT32		容量 最大32GB(推奨：～16GB)
	映像・動画：MPEG1、MPEG2、MPEG-4 (AVI形式 720×480/576対応)、 音楽・音声：MP3、WMA、AC3 画像：JPEG		

※上記の規格に適合していても、データを作成・保存したソフトウェア(または機器)の設定や本機との互換性、メディアの質などにより、再生できない場合があります。

※メディアの読み込みに時間がかかる場合があります。

※MP3などの圧縮ファイルは圧縮時のエラーなどにより再生できない場合があります。

※デジタル著作権管理(DRM)されたファイルは再生できません。

※パソコンやDVDレコーダー以外の機器によって作成されたディスクや、極端に収録時間が長い(または短い)ファイルは再生できない場合があります。

※本機のUSBポートはUSBメモリー専用です。故障やデータ消失のおそれがありますので、それ以外の機器は絶対に接続しないでください。

※データ消失を防ぐため、ご使用前にUSBメモリーやSDカードのファイルを他のメディアにバックアップしてください(弊社ではメディアの破損、ファイルの消失などに関して一切の責任を負いません)。

リージョンコードとは 映画などを収録した市販DVDは国際的な地域ごとに規格が割り当てられており、その番号をリージョンコードと呼びます。日本は「2」が割り当てられており、本機では「2」(または「2」を含むもの)、または「ALL」と表示されたディスクの再生が可能です。リージョンコードは、DVDビデオディスクまたはパッケージに印刷されています。

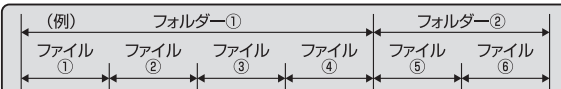
ファイナライズとは ディスク作成時に、実際に作成に使った機器(DVDやCDのレコーダー)と他の再生機器との互換性を持たせる処理のことです。この処理をしていない場合、実際にディスクを作成した機器以外では再生することができません。

CPRMについて CPRMとは、コピー制限のあるテレビ番組を記録するときに使われている著作権保護技術のことです。テレビのデジタル放送を録画する場合は、CPRMに対応しているDVDレコーダーとCPRMに対応したDVDメディアを使う必要があります。また、再生する機器についてもCPRMに対応している必要があり、本機はCPRMに対応しています。

日本語表示について

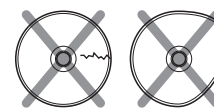
フォルダー名、ファイル名などの表示は、日本語、英数字及び一部の記号に対応しています。ただし、日本語の場合は正しく表示されないことがありますのでご了承ください。

メディアの構成について

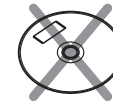
映画などの市販DVD (DVD-Video)	DVD-Videoのディスクは一般に「タイトル」と「チャプター」で構成されています。 ・タイトル：例えば複数の映画を収録した内容のうち、各映画ごとの区切りを指します。 ・チャプター：タイトルをさらに細かく分けたものです。 
音楽などの市販CD (CD-DA)	CD-DAは一般に「トラック」で構成されています。トラックとは例えば複数の音楽が入っている場合、曲ごとの区切りを指します。  ※本書では各トラックを「ファイル」または「曲」と呼ぶことがあります。
DVD-R、DVD-RW CD-R、CD-RW USBメモリー	「ファイル」と「フォルダー」で構成されています。 ・ファイル：例えば音楽の場合、1つひとつの曲のデータを指します。 ・フォルダー：いくつかのファイルをまとめたものを指します。  ※本書では各ファイルを「動画」、「曲」、「画像」と呼ぶことがあります。

ディスク取り扱い上の注意点

●ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。



●再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



●長時間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



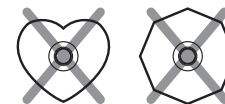
●再生面を触れないように持ってください。



●指紋や汚れが付いたときは、柔らかい布などで中心から放射状に軽く拭き取ってください。



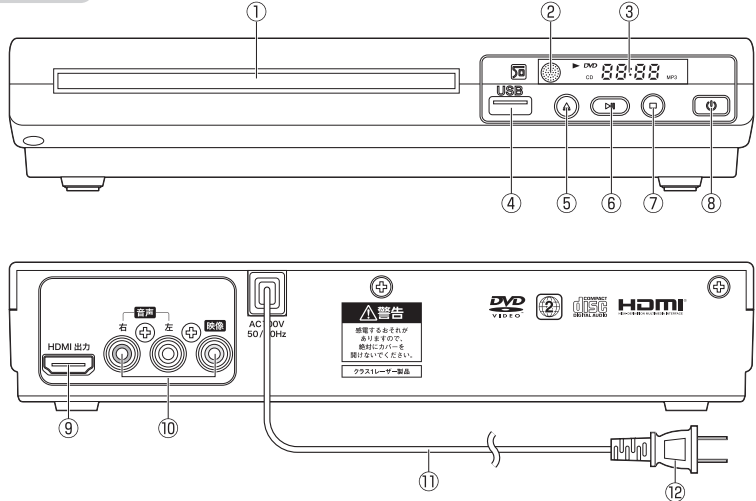
●ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となります。



各部の名称と主な機能

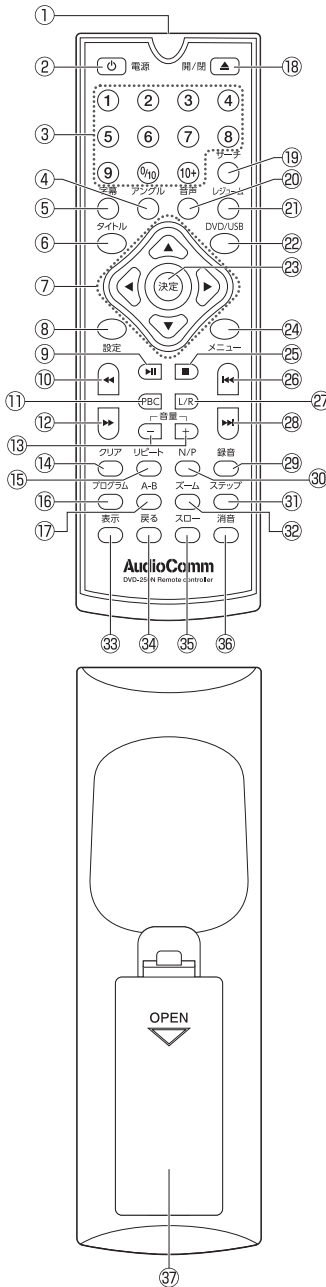
※本機及びリモコンにあるボタンの機能でも、DVDなどのメディアにその機能が含まれていない場合は使用できません。
※記載したボタン機能は一例です。メディアやファイル形式などにより、動作が異なっていたり、動作しないことがあります。
※短い間隔でボタン操作をしたときなどは、操作が無効になることがあります。ゆっくり丁寧に押してください。

本機(プレーヤー)



- ①ディスクトレイ
トレイは手前にスライドして開きます。
- ②リモコン信号受信部
リモコンをここにに向けて操作してください。
- ③ディスプレイ
再生時間などを表示します。
- ④USBポート
USBメモリーを接続します。
- ⑤ディスクトレイ開閉ボタン
ボタンを押すと、ディスクトレイが開閉します。
- ⑥再生/一時停止ボタン
再生を開始します。再生中に押すと再生を一時停止します。
- ⑦停止ボタン
再生を停止します。
- ⑧電源ボタン
電源を入/切します。
- ⑨HDMI出力端子
HDMI接続コードを接続します。
- ⑩RCA出力端子
RCA接続コードを接続します。
- ⑪電源コード
- ⑫電源プラグ

リモコン

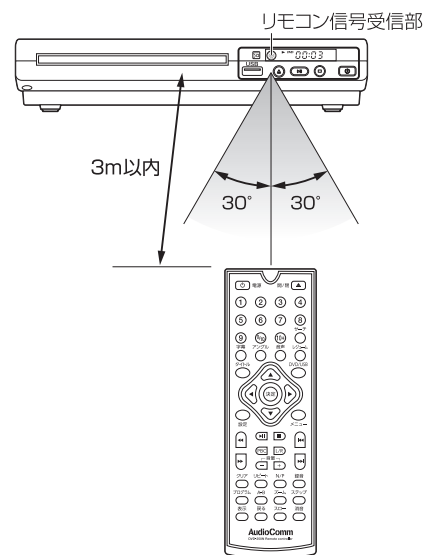


- ①信号送信部
この部分を本機のリモコン信号受信部に向けて操作します。
- ②電源ボタン
電源を入/切します。
- ③数字ボタン
チャプターなどの番号を直接入力するときに使います。
- ④アングルボタン
映像アングルを切り換えます。
- ⑤字幕ボタン
字幕表示を切り換えます。
- ⑥タイトルボタン
DVDのタイトルメニューを表示します。
- ⑦カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)
設定メニューなどでカーソルを移動させるときに使います。
- ⑧設定ボタン
設定メニューを表示します。
- ⑨再生/一時停止ボタン
再生を開始します。再生中に押すと再生を一時停止します。
- ⑩早戻しボタン
チャプター/トラック/ファイルを早戻しします。
- ⑪PBCボタン
VCD再生時に見たい画面や情報を選びます。
- ⑫早送りボタン
チャプター/トラック/ファイルを早送ります。
- ⑬音量ボタン(-/+)
音量を調節します。
- ⑭クリアボタン
入力・選択を取り消します。
- ⑮リピートボタン
リピートモードを設定します。
- ⑯プログラムボタン
プログラム再生を設定します。
- ⑰A-Bボタン
A-Bリピートを設定します。
- ⑱ディスクトレイ開閉ボタン
ディスクトレイを開閉します。
- ⑲サーチボタン
再生するチャプター /トラック/ファイルを指定します。
- ⑳音声ボタン
音声を切り換えます
- ㉑レジュームボタン
このボタンは本機では使用できません。
- ㉒DVD/USBボタン
再生メディアを切り換えます。
- ㉓決定ボタン
選択を確定します。
- ㉔メニューボタン
ディスクメニューを表示します。
- ㉕停止ボタン
再生を停止します。
- ㉖スキップボタン(◀◀)
ひとつ前のチャプター /トラック/ファイルにスキップします。
- ㉗L/Rボタン
音声の出力チャンネルを切り換えます。
- ㉘スキップボタン(▶▶)
次のチャプター /トラック/ファイルにスキップします。
- ㉙録音ボタン
USBメモリーにファイルをコピー(録音)します。
- ㉚N/Pボタン
テレビ信号方式を切り換えますが、通常はこのボタンを操作しないでください。
- ㉛ステップボタン
映像や動画をコマ送りします。
- ㉜ズームボタン
映像/動画/画像を拡大/縮小します。
- ㉝表示ボタン
再生に関する情報を表示します。
- ㉞戻るボタン
再生中の場合はメニュー画面やリスト表示に戻ります。設定メニュー時は設定メニューを終了します。
- ㉟スローボタン
スロー再生を設定します。
- ㊱消音ボタン
音声出力を中断します。
- ㊲電池ボックスカバー

リモコンについて

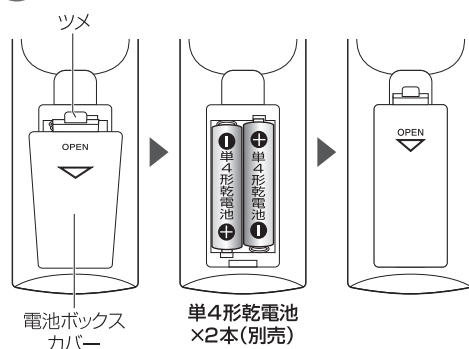
操作方法

本機のリモコン信号受信部に向けて操作してください。



乾電池の入れかた

- 1 電池ボックスカバーのツメを押し下げながら手前に引き、電池ボックスカバーを取り外します。
- 2 単4形乾電池×2本(別売)を⊕と⊖の向きに注意して正しく入れます。
●コイルバネのあるほうが⊖(マイナス)です。⊖側から先に入れてください。
- 3 電池ボックスカバーを元どおりにしっかりと閉めます。



- ご注意**
- リモコンの操作距離が短くなったり、ボタンを押しても動作しなくなったときは、乾電池の消耗が考えられます。新しいものと交換してください。
 - 感電のおそれがありますので、ぬれた手でリモコン及び本機を操作しないでください。
 - 長期間使わないときは、液もれを防ぐため乾電池を取り外してください。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。



警告

- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない



注意

- ・⊕⊖の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使う
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

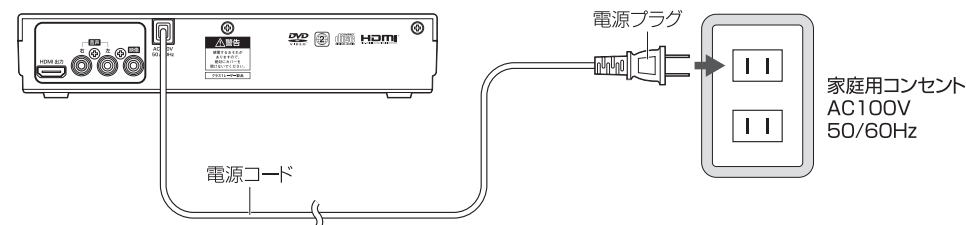
接続のしかた

ご注意

- 本機の上に物を置かないでください。異音や故障の原因となり、ディスクが傷つくおそれがあります。
- 長時間の使用により、本機の背面や底面が熱くなることがあります。そのようなときは手で触れたりせず、電源を切ってしばらく放置してください。
- 感電のおそれがありますので、ぬれた手で接続操作をしないでください。

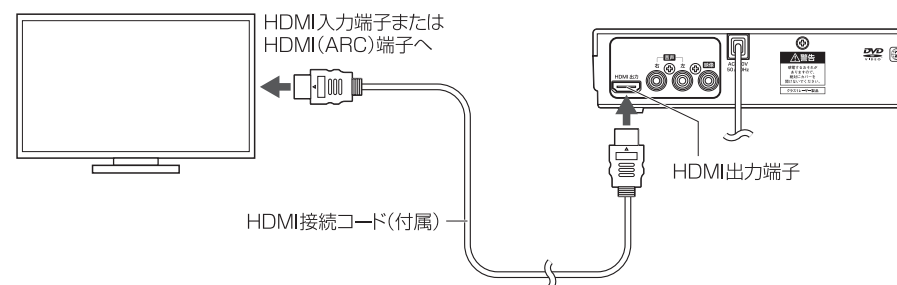
家庭用電源との接続方法

本機の電源プラグを家庭用コンセントをつないでください。

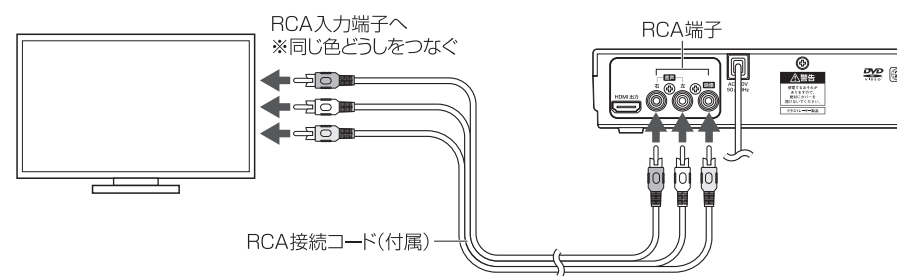


テレビとの接続方法

【HDMI入力端子またはHDMI(ARC)端子があるテレビの場合】



【RCA端子があるテレビの場合】



ヒントとご注意

- 本機及びテレビの電源が切れている状態で接続してください。
- 接続が完了したら、テレビの電源を入れ、テレビ側の入力ソースを接続方法に準じた設定に切り換えてください。入力ソースの切替方法はテレビ付属の取扱説明書などをご確認ください。

電源のオン/オフ

P.9～10を参照して、リモコンへの乾電池の装着と、家庭用コンセントやテレビとの接続を済ませてから操作してください。



電源オン

テレビの電源を入れた後、本機またはリモコンの電源ボタンを押すと、本機の電源が入ります。

- 本機のディスプレイに「HI」と表示され、メディアの読み込みが始まります。メディアが何も装着されていないときは、しばらくすると本機のディスプレイに「NOCD」と表示されます。



初期画面

読込中やメディアが装着されていないとき、テレビには初期画面(DVDのロゴ)が表示されます。

※DVD-Video(停止中)やCD-DA(再生中または停止中)も初期画面が表示されます。

電源オフ

電源が入っているときに、本機またはリモコンの電源ボタンを押すと、本機の電源が切れます。

- 「OFF」と表示された後、電源が切れてディスプレイ表示も消えます。

スクリーンセーバーと自動電源オフ機能

- 本機は工場出荷時にスクリーンセーバーがオンになっており、メディアが装着されていない状態や、DVD-VideoやCD-DAでの停止状態(初期画面表示)が約3分間続くと、スクリーンセーバーが起動します(DVD VIDEOのマークが画面上で動き、モニターの焼き付きを防ぎます)。

- その後、同じ状態が約20分続くと、節電のため自動で電源が切れます。

※スクリーンセーバーを起動しないようにするには、設定メニューの「スクリーンセーバー」をオフにしてください。

※ご自身で作成したメディアを選択しているときは、停止状態でもスクリーンセーバー及び自動電源オフ機能は作動しません。

※自動で本機の電源が切れた場合でも、接続しているテレビなどの電源は切れませんのでご注意ください。



スクリーンセーバー画面

メディアの装着方法と取り出しかた

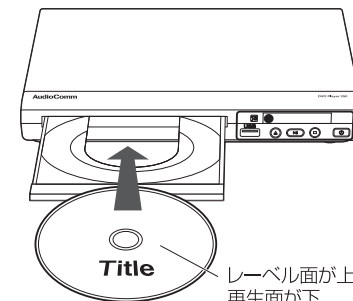
ディスク(DVD・CD)を装着するとき

- 1 電源を入れた後、本機またはリモコンのディスクトレイ開閉ボタンを押します。
 - ディスクトレイが手前に引き出されます。



- 2 ディスクのレーベル面を上、再生面を下にしてセットします。
 - トレイのくぼみに正しくセットしてください。

- 3 ディスクトレイ開閉ボタンを押します。
 - トレイが閉まり、読み込みが始まります。読み込みが完了すると、再生が自動で始まります。



レーベル面が上
再生面が下

取り出すときは：●再生を停止させた後、ディスクトレイ開閉ボタンを押してください。トレイが開きます。
●ディスクを取り出した後は、ディスクトレイ開閉ボタンを押してトレイを閉めてください。
●取り出したディスクはケースに入れて保管してください。

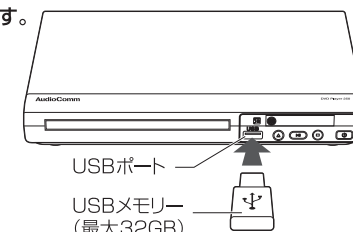
USBメモリーを装着するとき

- 1 電源が切れた状態で、USBメモリーをUSBポートに差し込みます。
 - 端子の向き(上下)を確認して、確実に装着してください。

- 2 本機の電源を入れます。
 - ディスク未装着の場合は、そのままUSBメモリーの読み込みが始まり、読み込み完了後、再生が自動で始まります。
 - ディスクを装着している場合は、ディスクの読み込みと再生が優先されます。DVD/USBボタンを押すと、DVDとUSBメモリーの再生を切り換えることができます。



リモコン
DVD/USB



USBポート
USBメモリー
(最大32GB)

取り出すときは：●電源を切るかディスクの再生モードに切り換えてから抜き取ってください。
●取り出したメディアは紛失しないようにご注意ください。

ディスクとUSBメモリーの切換方法

DVD/USB DVD/USBボタンを押すと、メディアを切り換えることができます。
※どちらか一方だけが装着されているときは、再読み込みとなります。

レジューム再生について

本機は工場出荷時にレジューム再生機能がオンになっており、一度再生したことがあるメディアを再度装着したときや、カテゴリーを変更後、再び元のカテゴリーに戻ったときなどに、前回の続きから再生を開始します。

レジューム再生機能を無効にするには、設定メニューの「レジューム再生」をオフにしてください。

※レジューム再生は状況により機能しないことがあります。

※レジューム再生がオンのときは、以降のページで説明している再生の「基本操作」と動作・操作が異なる場合があります。

メディアごとの初期動作

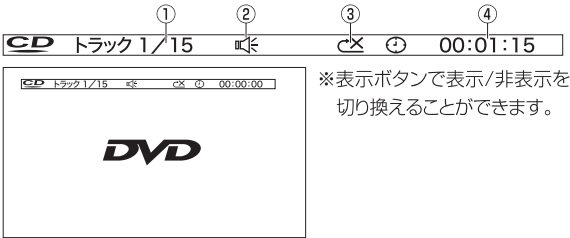
映画などの市販DVD(DVD-Video)を装着したとき

読み込み完了後、自動で再生が始まります。



音楽などの市販CD(CD-DA)を装着したとき

読み込み完了後、自動で再生が始まり、再生中の状況を表示します。



- ①再生中のトラック番号／総トラック数
- ②音声出力の有無(消音は半透明色)
- ③リピートモード
- ④経過時間(停止時は総収録時間)

ご自身で作成したメディア(DVD-R、DVD-RW、CD-R、CD-RW、USBメモリー)を装着したとき

メディア内のファイルが3つのカテゴリー(音楽・音声、画像、映像・動画)に分けられてリスト表示されます。

音楽・音声

リスト表示とともに再生が自動で始まります。このカテゴリーでは再生中もリスト表示が続きます。
詳しくはP.14、P.22～25をご確認ください。

画像

再生したいファイルを選び、決定ボタンまたは再生/一時停止ボタンを押すと再生が始まります。
詳しくはP.14、P.16～21をご確認ください

映像・動画

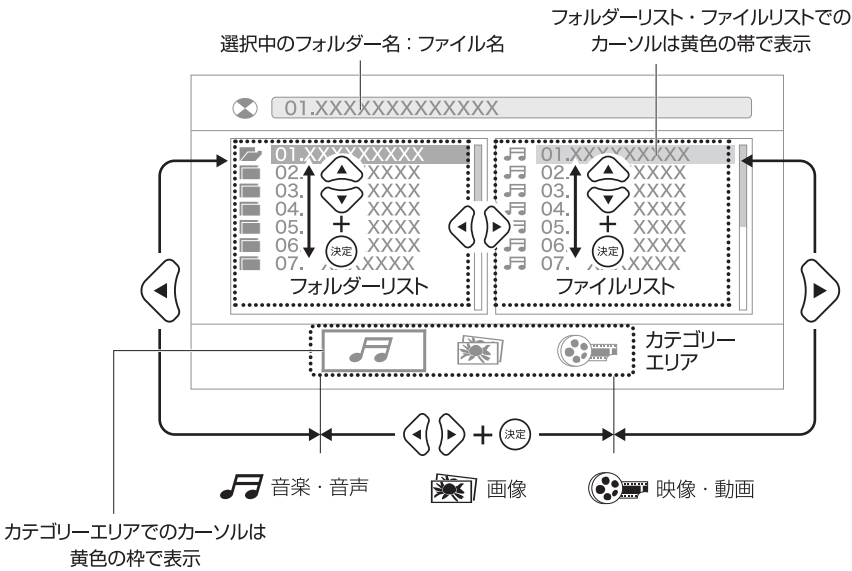
再生したいファイルを選び、決定ボタンまたは再生/一時停止ボタンを押すと再生が始まります。
詳しくはP.14、P.16～21をご確認ください

ファイルリストからファイルを選んで再生します。詳しくはP.14、P.26～28をご確認ください。

- 複数のファイル形式が混在しているときは、「音楽・音声」のリスト画面が優先的に表示されます。
- メディアに複数のフォルダーがあり、それぞれに音楽・音声ファイル、画像ファイル、映像・動画ファイルが混在しているときも、カテゴリーごとにフォルダー分けされ、「音楽・音声」のリストが優先的に表示されます。
- 通常の再生では、同一カテゴリーの最後のフォルダー(ファイル)まで順に再生して停止しますが、一部のファイルではファイル単位で停止する場合もあります。

リスト画面でのカーソルボタンの操作

カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)を押すと、カーソル(黄色の帯または枠)が動きます。



- フォルダーリストにカーソルがあるとき

 - ・カーソルボタン(▲/▼)でフォルダーを選択。決定ボタンを押すと、フォルダー内のファイルリストを表示します。
- ファイルリストにカーソルがあるとき

 - ・音楽・音声カテゴリーの場合：
自動で再生が始まります。カーソルボタン(▲/▼)でファイルを選択して決定ボタンを押すと、そのファイルにスキップして再生します。
 - ・画像カテゴリーの場合：
カーソルボタン(▲/▼)でファイルを選択すると、フォルダーリストエリアにサムネイル画像を表示します。決定ボタンを押すと画像を表示。再生/一時停止ボタンを押すと、その画像からスライドショー再生を開始します。
 - ・映像・動画カテゴリーの場合：
カーソルボタン(▲/▼)でファイルを選択して決定ボタンを押すと、再生を開始します。

- カテゴリーエリアにカーソルがあるとき

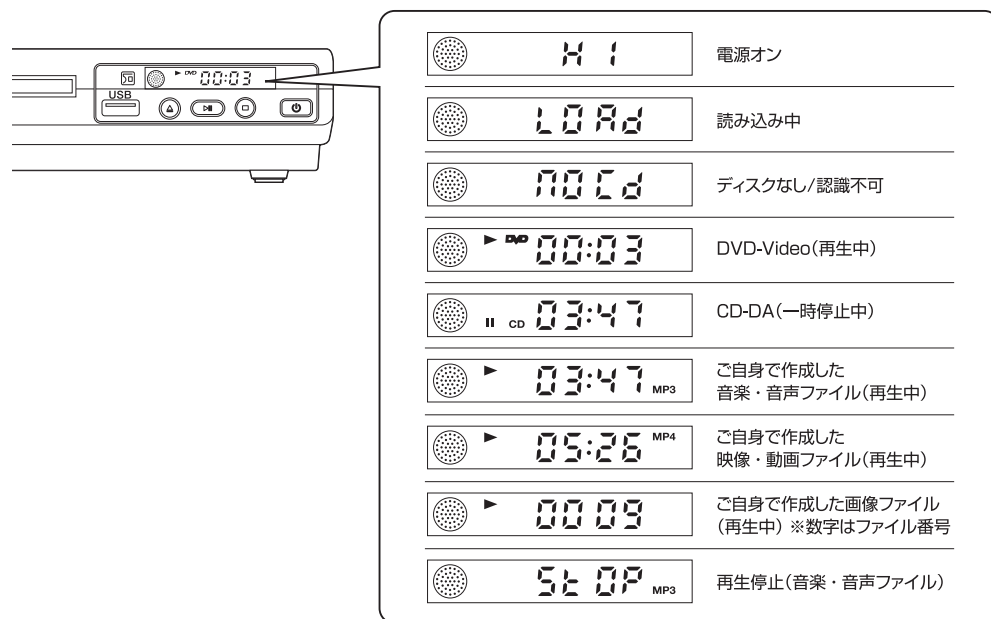
 - ・カーソルボタン(◀/▶)でカテゴリーを選んで決定ボタンを押すと、そのカテゴリーのフォルダーリスト、ファイルリストを表示します(音楽・音声カテゴリーの場合は自動再生開始)

※フォルダーリストやカテゴリーエリアの操作をしたときは、決定ボタンを押してもカーソルはファイルリストに移動しません。カーソルボタンでファイルリストにカーソルを移動させて、再生するファイルを選んでください。

ディスプレイ表示とボタン操作時のテレビ画面表示

ディスプレイ表示例

装着したメディアの状況に応じて以下のように表示されます。

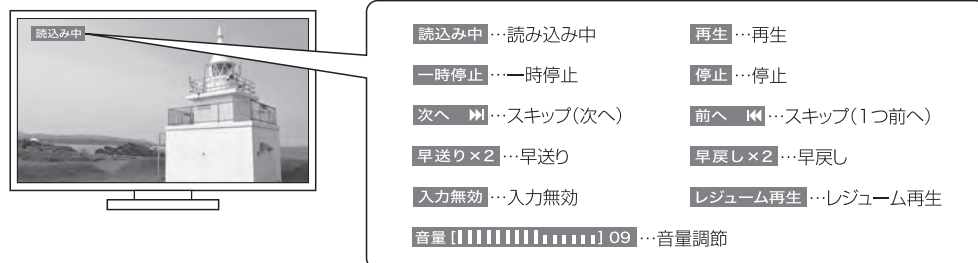


テレビ画面表示例

再生、一時停止、停止、音量調節、早送り/早戻し、スキップなどの操作をすると、一時的にそれに応じたマークがテレビ画面に表示されます。

※メディアがボタンの機能に対応していないときは「入力無効」と表示されます。

※ボタンを続けて押したときも「入力無効」と表示されることがあります。そのときは「入力無効」の表示が消えてから、あらためてボタンを押してください。



映像・動画を再生する

基本操作

- 1 本機にメディアを正しく装着します。**
 - ディスクは本機の電源を入れてから装着します。USBメモリーは電源を入れる前に装着します。
 - どちらの場合もP.12を参照して正しく装着してください。
- 2 DVD-Videoの場合は自動で再生が始まります。それ以外のメディアの場合は、リスト画面で映像・動画カテゴリーを選び、再生操作をします。**
 - P.13～14を参照して操作してください。

ヒント ●読み込み完了後にDVDに収録されたメニューなどが表示されたときは、画面の指示に従ってカーソルボタン(▲/▼/◀/▶)で項目を選び、決定ボタンを押してください。
- 3 音量ボタン(−/+)で音量を調節します。**
 - 音量の上げすぎにご注意ください。
 - 本機とテレビ、双方のバランスをとりながら調節してください。
 - 消音ボタンを押すと音が消えます。もう一度押すと元に戻ります。

リモコン: 音量 (−) (+) 消音
- 4 再生/一時停止ボタンを押すと、再生が一時停止します。**
 - もう一度押すと再生を再開します。

リモコン: 再生 (▶▶) 一時停止 (⏸)
- 5 停止ボタンを押すと、再生を停止します。**
 - 停止ボタンを1回押すと仮停止となります。この状態で再生/一時停止ボタンを押すと、続きから再生を再開します。
 - 仮停止の状態でもう一度停止ボタンを押すと、完全停止となります。
 - ※ご自身で作成したメディアの場合は動作が異なることがあります。

リモコン: 停止 (■) 本機: 停止 (□)
- 6 使い終わったら、電源を切ります。**
 - ディスクは電源を切る前に本機から取り出し、その後電源を切ります。
 - USBメモリーの場合は、電源を切った後にUSBメモリーを引き抜きます。
 - 取り出したメディアは放置せず、大切に保管してください。

早送り

リモコン



- 再生中または一時停止中に早送りボタンを押すと、早送りになります。
- 早送りボタンを押すたびに「早送り×2」→「早送り×4」→「早送り×8」→「早送り×16」→「早送り×20」と早送りのスピードが速くなり、さらにもう一度押すと通常の再生に戻ります。
- 早送り中に再生/一時停止ボタンまたは決定ボタンを押したときも、通常の再生に戻ります。
- ※ご自身で作成したメディアの場合、ファイルをまたいでの早送りはできません。

早戻し

リモコン



- 再生中または一時停止中に早戻しボタンを押すと、早戻しになります。
- 早戻しボタンを押すたびに「早戻し×2」→「早戻し×4」→「早戻し×8」→「早戻し×16」→「早戻し×20」と早戻しのスピードが速くなり、さらにもう一度押すと通常の再生に戻ります。
- 早戻し中に再生/一時停止ボタンまたは決定ボタンを押したときも、通常の再生に戻ります。
- ※ご自身で作成したメディアの場合、ファイルをまたいでの早戻しはできません。

映像・動画を再生する(つづき)

前後のチャプター(ファイル)にスキップする

リモコン

⏮

⏭

- 再生中または一時停止中にスキップボタン(⏮)を押すと、1つ前のチャプター(ファイル)にスキップします。
- 再生中または一時停止中にスキップボタン(⏭)を押すと、次のチャプター(ファイル)にスキップします。

※チャプターが設定されていないDVD-Videoでは機能しません。

チャプター(ファイル)番号を指定してスキップする

リモコン

1 2 3 4

5 6 7 8

9 0/10 10+

- 数字ボタンでチャプター(ファイル)番号を押すと、そのチャプター(ファイル)にスキップして再生が始まります。
- チャプター番号での指定は、チャプターが設定されているDVD-Videoのみ有効です。
- ご自身で作成したメディアの場合、同じメディア内にある映像・動画像カテゴリーのフォルダーリスト及びファイルリストの表示順に従い、フォルダー番号とファイル番号(いずれも通し番号)が割り当てられます(フォルダー名、ファイル名の先頭に表示されます)。カーソルがフォルダーリストにあるときはフォルダー選択、ファイルリストにあるときはファイル選択となりますので、表示を確認しながら数字ボタンで入力してください。

ヒント

- 1桁の数字はそのまま数字ボタンを押します。
- 0を入力するときは「0/10」を押します。
- 2桁以上の数字の場合、例えば15を入力するときは、「1」→「5」と順に数字ボタンを押す方法のほか、「10+」→「5」でも同様の操作ができます。また、25を入力するときは「10+」→「10+」→「5」、48のときは「10+」→「10+」→「10+」→「10+」→「8」でも入力可能です。

サーチボタンを使う

リモコン

サーチ

○

1 2 3 4

5 6 7 8

9 0/10 10+

- チャプター(ファイル)番号または経過時間を指定して、再生することができます。
- チャプター(ファイル)番号で指定するときは、サーチボタンを押した後、再生したいチャプター(ファイル)番号を数字ボタンで入力し、決定ボタンを押します。

DVD タイトル 01 / 03 チャプター 01 / 016 ⌚ 00:18:24

チャプター(トラック)番号を1桁ずつ入力

- 経過時間で指定するときは、サーチボタンを押した後、カーソルボタンでカーソルを経過時間部まで移動させ、時・分・秒をそれぞれ数字ボタンで入力してから決定ボタンを押します。

DVD タイトル 00 / 03 チャプター 008 / 016 ⌚ 01:50:00

経過時間(時・分・秒)を1桁ずつ入力

※DVD-Videoで経過時間を指定するときは、チャプター単位ではなくタイトル内での経過時間で指定します。

※ご自身で作成したメディアの場合は、各ファイル内での経過時間を指定します。

※チャプター(ファイル)番号と経過時間を同時に指定することはできません。

ヒント

- サーチボタン使用時に数字を入力するときは、表示された桁ごとに数字ボタンを押してください。
- 0を入力するときは「0/10」を押します。

字幕を切り換える

リモコン

字幕

○

- 字幕表示に対応したDVDを再生時に字幕ボタンを押すと、表示のオン/オフや字幕の言語を切り換えます。複数の字幕言語を収録したディスクの場合は、押すたびに字幕言語が切り換わります。

※DVDによっては、ディスクに収録されたメニューでのみ設定が可能な場合があります。

※字幕表示に対応していないDVDでは機能しません。

字幕マーク

[3 日本語]

選択中の字幕言語

アングルを切り換える

リモコン

アングル

○

- マルチアングルに対応したDVDを再生時にアングルボタンを押すと、映像アングルを切り換えます。
- マルチアングルは、チャプター単位や映像の一部のみなど、DVDにより設定が異なります。

※マルチアングルに対応していないDVDでは機能しません。

アングルマーク

[1 / 2]

選択中のアングル番号/総アングル数

音声言語を切り換える

リモコン

音声

○

- 複数の音声言語(マルチ言語)に対応したDVDを再生中に音声ボタンを押すと、音声言語が切り換わります。

※切換可能な言語はディスクにより異なります。

※マルチ言語に対応していないDVDでは機能しません。

※DVDによっては、ディスクに収録されたメニューでのみ設定が可能な場合があります。

マルチ言語マーク

[1 英語 5.1CH]

選択中の言語

タイトルメニューを表示する

リモコン

タイトル

○

- タイトルボタンを押すと、タイトルメニューを表示します。

※表示される内容及び操作方法は、ディスクにより異なります。

※タイトルメニューが収録されていないディスクや、ご自身で作成したメディアの場合は、機能しなかったり、ディスクメニューが表示されることがあります。

ディスクメニューを表示する

リモコン

メニュー

○

- メニューボタンを押すと、ディスクメニューを表示します。
- ご自身で作成したメディアの場合は、メニューボタンを押すとリスト画面に戻ります。

※表示される内容及び操作方法は、ディスクにより異なります。

※ディスクメニューが収録されていないディスクでは機能・動作が異なります。

ヒント

- メディアによっては、再生中に戻るボタンを押すと、メニューボタンと同様の操作ができる場合もあります。

映像・動画を再生する(つづき)

PBCメニューを表示する

- リモコン
- PBC
- ビデオCD(VCD)再生時に、見たい画面や情報を選びます。
※ビデオCD以外のメディアを再生しているときは、機能しなかったり動作が異なる場合があります。

音声チャンネルを切り換える

- リモコン
- L/R
- ご自身で作成したメディアを再生しているときは、L/Rボタンを押すたびに、チャンネル：[モノラル左]→チャンネル：[モノラル右]→チャンネル：[ステレオ]の順で出力する音声チャンネルが切り換わります。
※DVD-Videoなどメディアやファイルによっては機能しない場合があります。

リピートモードを設定する

- リモコン
- リピート
-
- 映画などの市販DVDの場合は、リピートボタンを押すたびにリピート：[チャプター](再生中のチャプターを繰り返し再生)→リピート：[タイトル](再生中のタイトルを繰り返し再生)→リピート：[オール](ディスク全体を繰り返し再生)と切り換わり、さらにもう一度押すとリピート：[オフ](リピートを解除)となります。
 - ご自身で作成したメディアの場合は、リピート：[シングル](再生中のファイルを繰り返し再生)→リピート：[フォルダ](再生中のフォルダーを繰り返し再生)→リピート：[オール](メディア内の同じカテゴリーの全ファイルを繰り返し再生)→リピート：[オフ](リピートを解除)となります。
※リピートのしかたはフォルダーやファイルの構成により異なる場合があります。

A-Bリピートを設定する

- リモコン
- A-B
-
- 範囲を指定して繰り返し再生することができます。
 - 再生中、A-Bリピートを開始したいところでA-Bリピートボタンを押し、終了したいところでもう一度A-Bリピートボタンを押すと、指定した範囲を繰り返し再生します。
 - A-Bリピート中にA-Bリピートボタンを押すと、通常の再生に戻ります。
- リピートA-

→

リピートA-B
-

拡大・縮小表示する

- リモコン
- ズーム
-
- ズームボタンを押すたびに、「ズーム 2」→「ズーム 3」→「ズーム 4」と拡大率が大きくなり、さらに押すと「ズーム 1/2」→「ズーム 1/3」→「ズーム 1/4」と縮小率が変化します。もう一度押すと「ズーム：オフ」と表示されて通常の大きさに戻ります。
 - 拡大表示中はカーソルボタン(▲/▼/◀/▶)を押して、映像の表示範囲を上下左右に動かすことができます。
- ※ご自身で作成したメディアの場合、ファイルをまたいでの拡大・縮小表示はできません。

コマ送りする

- リモコン
- ステップ
-
- ステップボタンを押すと、映像をコマ送ります。
 - 押すたびにコマ送りされ、再生/一時停止ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

プログラム再生をする

チャプター単位で再生順を指定して再生することができます。
※チャプターが設定されていないメディアでは機能しません。

- 1
- プログラムボタンを押します。
- プログラム登録画面になり、1番目のタイトル番号登録部分が反転文字(黄色のカーソル)になります。

	T	C		T	C		T	C		T	C
1	---	5	---	9	---	---	13	---	---	---	---
2	---	6	---	10	---	---	14	---	---	---	---
3	---	7	---	11	---	---	15	---	---	---	---
4	---	8	---	12	---	---	16	---	---	---	---
プログラム		再生		クリア							

- 2
- 数字ボタンで1番目のタイトル番号を入力し、カーソルボタン(▶)を押します。

●カーソル(反転文字)がチャプター番号の入力部分に移動します。

	T	C		T	C		T	C
1	01	---	5	---	---	9	---	---
2	---	6	---	10	---	---	---	---
3	---	7	---	11	---	---	---	---
4	---	8	---	12	---	---	---	---
プログラム		再生		再生				

- 3
- 数字ボタンで1番目のチャプター番号を入力します。その後、カーソルボタン(▼/◀)で2番目の登録部分にカーソルを移動させます。

	T	C		T	C		T	C
1	01	07	5	---	---	9	---	---
2	---	6	---	10	---	---	---	---
3	---	7	---	11	---	---	---	---
4	---	8	---	12	---	---	---	---
プログラム		再生		再生				

- 4
- ②～③と同様の手順で登録します。
- 再生したい順番で、タイトル番号とチャプター番号をすべて登録します。

- 5
- 再生/一時停止ボタンを押すと、プログラム再生が始まります。
- カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)でカーソルを「再生」に合わせ、決定ボタンまたは再生/一時停止ボタンを押すことで、プログラム再生が始まります。

	T	C		T	C		T	C
1	01	07	5	02	04	9	---	13
2	01	13	6	02	15	10	---	14
3	01	18	7	---	---	11	---	15
4	02	09	8	---	---	12	---	16
プログラム		再生		クリア				

- ヒント
- 画面上の「クリア」を選んで決定ボタンを押すと、プログラム内容全体を一括して削除できます。
 - プログラムの登録操作を途中で終了するときは、プログラムボタンを押してください。
 - プログラム再生中に停止ボタンを2回押したときや、他のメディア再生に移ったとき、電源を切ったときはプログラム設定が解除されます(ただし、次回プログラムボタンを押したときに、登録内容が残ることがあります)。



- ヒント
- 1桁の数字はそのまま数字ボタンを押します。
 - 0を入力するときは「0/10」を押します。
 - 2桁以上の数字の場合、例えば15を入力するときは、「1」→「5」と順に数字ボタンを押す方法のほか、「10+」→「5」でも同様の操作ができます。また、25を入力するときは「10+」→「10+」→「5」、48のときは「10+」→「10+」→「10+」→「10+」→「8」でも入力可能です。
 - 訂正するときは、クリアボタンを押してから入力直してください。

映像・動画を再生する(つづき)

再生中のチャプター(ファイル)情報を表示する

リモコン

表示



●表示ボタンを押すと、再生中のチャプター(ファイル)情報を画面上部に表示します。

●表示を消すには、もう一度表示ボタンを押してください。

※表示される内容はメディアやファイルにより異なります。

・DVD-Video

DVD タイトル 1 / 3 チャプター 5 / 16 00:38:54 経過時間

再生中のタイトル番号 / 総タイトル数 再生中のチャプター番号 / 総チャプター数

・ご自身で作成したメディア

CDrom トラック 6 / 13 00:03:25 経過時間

再生中のファイル番号 / 総ファイル数 リピートモード

音声出力の有無(消音は半透明色) **CX**: リピートオフ

C1: シングルリピート

CD: フォルダーリピート

CA: リピートオール

スロー再生を設定する

リモコン

スロー



●再生中にスローボタンを押すと、スロー再生を設定することができます。

●押すたびに、「スロー送り 1/2」→「スロー送り 1/3」→「スロー送り 1/4」→「スロー送り 1/5」→「スロー送り 1/6」→「スロー送り 1/7」と再生速度が遅くなり、さらにもう一度押すと通常のスピードに戻ります。

●スロー再生中に再生/一時停止ボタンを押したときも、通常の再生スピードに戻ります。

※ご自身で作成したメディアの場合、ファイルをまたいでのスロー再生はできません。

音楽・音声を再生する

基本操作

1

本機にメディアを正しく装着します。

●ディスクは本機の電源を入れてから装着します。USBメモリーは電源を入れる前に装着します。

●どちらの場合もP.12を参照して正しく装着してください。

2

CD-DAの場合は自動で再生が始まります。

それ以外のメディアの場合は、リスト画面で音楽・音声カテゴリーを選び、再生操作をします。

●P.13~14を参照して操作してください。

ヒント

●読み込み完了後にディスクに収録されたメニューなどが表示される場合は、画面の指示に従ってカーソルボタン(▲/▼/◀/▶)で項目を選び、決定ボタンを押してください。

3

音量ボタン(-/+)で音量を調節します。

●音量の上げすぎにご注意ください。

●本機とテレビ、双方のバランスをとりながら調節してください。

●消音ボタンを押すと音が消えます。もう一度押すと元に戻ります。

リモコン



消音



4

再生/一時停止ボタンを押すと、再生が一時停止します。

●もう一度押すと再生を再開します。

リモコン



本機



5

停止ボタンを押すと、再生を停止します。

<CD-DAの場合>

停止ボタンを1回押すと仮停止となります。この状態で再生/一時停止ボタンを押すと、続きから再生を再開します。仮停止の状態でもう一度停止ボタンを押すと、完全停止となります。

<CD-DA以外の場合>

再生を停止します(仮停止はありません)。

リモコン



本機



6

使い終わったら、電源を切ります。

●ディスクは電源を切る前に本機から取り出し、その後電源を切ります。

●USBメモリーの場合は、電源を切った後にUSBメモリーを引き抜きます。

●取り出したメディアは放置せず、大切に保管してください。

早送り

リモコン



●再生中または一時停止中に早送りボタンを押すと、早送りになります。

●早送りボタンを押すたびに「早送り×2」→「早送り×4」→「早送り×8」→「早送り×16」→「早送り×20」と早送りのスピードが速くなり、さらにもう一度押すと通常の再生に戻ります。

●早送り中に再生/一時停止ボタンまたは決定ボタンを押したときも、通常の再生に戻ります。

※ご自身で作成したメディアの場合、ファイルをまたいでの早送りはできません。

早戻し

リモコン



●再生中または一時停止中に早戻しボタンを押すと、早戻しになります。

●早戻しボタンを押すたびに「早戻し×2」→「早戻し×4」→「早戻し×8」→「早戻し×16」→「早戻し×20」と早戻しのスピードが速くなり、さらにもう一度押すと通常の再生に戻ります。

●早戻し中に再生/一時停止ボタンまたは決定ボタンを押したときも、通常の再生に戻ります。

※ご自身で作成したメディアの場合、ファイルをまたいでの早戻しはできません。

音楽・音声を再生する(つづき)

前後のトラック(ファイル)にスキップする

リモコン

- 再生中または一時停止中にスキップボタン(⏮)を押すと、1つ前のトラック(ファイル)にスキップします。
- 再生中または一時停止中にスキップボタン(⏭)を押すと、次のトラック(ファイル)にスキップします。

トラック(ファイル)番号を指定してスキップする

リモコン

- 数字ボタンでトラック(ファイル)番号を押すと、その曲にスキップして再生が始まります。
- CD-DAの場合は収録曲の一覧表示はありませんので、CDジャケットなどでトラック番号をご確認ください。
- ご自身で作成したメディアの場合、同じメディア内にある音楽・音声カテゴリーのフォルダーリスト及びファイルリストの表示順に従い、フォルダー番号とファイル番号(いずれも通し番号)が割り当てられます(フォルダー名、ファイル名の先頭に表示されます)。カーソルがフォルダーリストにあるときはフォルダー選択、ファイルリストにあるときはファイル選択となりますので、表示を確認しながら数字ボタンで入力してください。

ヒント

- 1桁の数字はそのまま数字ボタンを押します。
- 0を入力するときは「0/10」を押します。
- 2桁以上の数字の場合、例えば15を入力するときは、「1」→「5」と順に数字ボタンを押す方法のほか、「10+」→「5」でも同様の操作ができます。また、25を入力するときは「10+」→「10+」→「5」、48のときは「10+」→「10+」→「10+」→「10+」→「8」でも入力可能です。

サーチボタンを使う

リモコン

- トラック(ファイル)番号または経過時間を指定して、再生することができます。
- トラック(ファイル)番号で指定するときは、サーチボタンを押した後、再生したいトラック(ファイル)番号を数字ボタンで入力し、決定ボタンを押します。

トラック 08 / 15 00:00:00

トラック(トラック)番号を1桁ずつ入力

- 経過時間で指定するときは、サーチボタンを押した後、カーソルボタンでカーソルを経過時間部まで移動させ、時・分・秒をそれぞれ数字ボタンで入力してから決定ボタンを押します。

トラック 00 / 15 00:35:17

経過時間(時・分・秒)を1桁ずつ入力

※CD-DAで経過時間を指定するときは、トラック単位ではなくディスク全体での経過時間で指定します。

※ご自身で作成したメディアの場合は、各ファイル内での経過時間を指定します。

※トラック(ファイル)番号と経過時間を同時に指定することはできません。

ヒント

- サーチボタン使用時に数字を入力するときは、表示された桁ごとに数字ボタンを押してください。
- 0を入力するときは「0/10」を押します。

リピートモードを設定する

リモコン

- リピートボタンを押すたびに、リピート：[シングル](再生中のファイルを繰り返し再生)→リピート：[フォルダ](再生中のフォルダーを繰り返し再生)→リピート：[オール](メディア内の同じカテゴリーの全ファイルを繰り返し再生)と切り換わり、さらにもう一度押すと、リピート：[オフ](リピート設定を解除)となります。

※フォルダーリピートはCD-DAでは表示されません。

A-Bリピートを設定する

リモコン

- 範囲を指定して繰り返し再生することができます。
- 再生中に、A-Bリピートを開始したいところでA-Bリピートボタンを押し、終了したいところでもう一度A-Bリピートボタンを押すと、指定した範囲を繰り返し再生します。
- A-Bリピート中にA-Bリピートボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

再生中のトラック(ファイル)情報を表示する

リモコン

- 表示ボタンを押すと、再生中のトラック(ファイル)情報を画面上部に表示します。
- 表示を消すには、もう一度表示ボタンを押してください。

※CD-DAの場合は、表示されている情報の表示/非表示を切り換えます。

● CD-DA

トラック 3 / 15 00:02:46

再生中のトラック番号 / 総トラック数

音声出力の有無(消音は半透明色)

リピートモード
 : リピートオフ
 : シングルリピート
 : フォルダーリピート
 : リピートオール

● ご自身で作成したメディア

トラック 6 / 13 00:03:25

再生中のファイル番号 / 総ファイル数

音声出力の有無(消音は半透明色)

リピートモード
 : リピートオフ
 : シングルリピート
 : フォルダーリピート
 : リピートオール

音声チャンネルを切り換える

リモコン

- L/Rボタンを押すたびに、チャンネル：[モノラル左]→チャンネル：[モノラル右]→チャンネル：[ステレオ]の順で出力する音声チャンネルが切り換わります。

音楽・音声を再生する(つづき)

プログラム再生をする

トラック(ファイル)番号で再生順を指定して再生することができます。

- 1 プログラムボタンを押します。
- プログラム登録画面になり、1 番目の登録部分が反転文字(黄色のカーソル)になります。

1	0027	5	0006	9	0013
2	0018	6	0017	10	0014
3	0003	7	0005	11	0015
4	0012	8	0012	12	0016
プログラム		再生		クリア	

- 2 数字ボタンで1 番目のトラック(ファイル)番号を入力し、カーソルボタン(▼)を押します。
- カーソル(反転文字)が2 番目の入力部分に移動します。

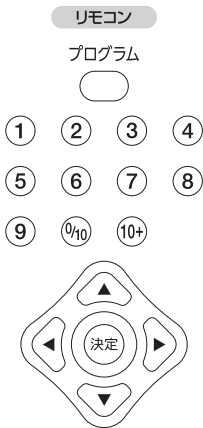
1	0027	5	0006	9	0013
2	0018	6	0017	10	0014
3	0003	7	0005	11	0015
4	0012	8	0012	12	0016
プログラム		再生		クリア	

- 3 同様の手順で登録します。
- 再生したい順番で、トラック(ファイル)番号をすべて登録します。
 - 次の列に移動するときはカーソルボタン(▶/▲)で操作してください。

- 4 再生/一時停止ボタンを押すと、プログラム再生が始まります。
- カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)でカーソルを「再生」に合わせ、決定ボタンまたは再生/一時停止ボタンを押すことで、プログラム再生が始まります。

1	0027	5	0006	9	0013
2	0018	6	0017	10	0014
3	0003	7	0005	11	0015
4	0012	8	0012	12	0016
プログラム		再生		クリア	

- ヒント
- 画面上の「クリア」を選んで決定ボタンを押すと、プログラム内容全体を一括して削除できます。
 - プログラムの登録操作を途中で終了するときは、プログラムボタンを押してください。
 - プログラム再生中に停止ボタンを2 回押したときや、他のメディア再生に移ったとき、電源を切ったときはプログラム設定が解除されます(ただし、次回プログラムボタンを押したときに、登録内容が残ることがあります)。



- ヒント
- 1桁の数字はそのまま数字ボタンを押します。
 - 0を入力するときは「0/10」を押します。
 - 2桁以上の数字の場合、例えば15を入力するときは、「1」→「5」と順に数字ボタンを押す方法のほか、「10+」→「5」でも同様の操作ができます。また、25を入力するときは「10+」→「10+」→「5」、48のときは「10+」→「10+」→「10+」→「10+」→「8」でも入力可能です。
 - 訂正するときは、クリアボタンを押してから入力直してください。

画像を再生する

基本操作

- 1 本機にメディアを正しく装着します。
- ディスクは本機の電源を入れてから装着します。USBメモリーは電源を入れる前に装着します。
 - どちらの場合もP.12を参照して正しく装着してください。
- 2 画像データのみを収録したメディアの場合は、リスト画面が表示されます。画像以外のデータを含むメディアの場合は、リスト画面で画像カテゴリーを選びます。
- P.13~14を参照して操作してください。
- 3 カーソルボタン(▲/▼)で見たい画像(ファイル)を選択します。その後、
- A : 決定ボタンを押すと、その画像(ファイル)を表示します。
- B : 再生/一時停止ボタンを押すと、その画像(ファイル)からスライドショー再生が始まります。



- 4 再生/一時停止ボタンを押すと、スライドショー再生が一時停止します。
- もう一度押すと再生を再開します。
 - Aの場合でも、再生再開時はスライドショー再生になります。
- 5 停止ボタンを押すと、再生を停止します。
- リスト画面に戻ります。
- 6 使い終わったら、電源を切ります。
- ディスクは電源を切る前に本機から取り出し、その後電源を切ります。
 - USBメモリーの場合は、電源を切った後にUSBメモリーを引き抜きます。
 - 取り出したメディアは放置せず、大切に保管してください。



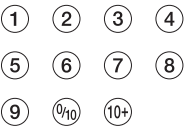
前後の画像(ファイル)にスキップする

- リモコン
- 再生中または一時停止中にスキップボタン(◀◀)を押すと、1つ前の画像(ファイル)にスキップします。
 - 再生中または一時停止中にスキップボタン(▶▶)を押すと、次の画像(ファイル)にスキップします。



サーチボタンを使う

- リモコン
- サーチ
- サーチボタンを押した後、再生したいファイル番号を数字ボタンで入力し、決定ボタンを押すと、その画像(ファイル)を表示します。
- ヒント
- サーチボタン使用時に数字を入力するときは、表示された桁ごとに数字ボタンを押してください。
 - 0を入力するときは「0/10」を押します。



画像を再生する(つづき)

画像(ファイル)番号を指定してスキップする

リモコン

表示

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

0/10

10+

- 数字ボタンで画像(ファイル)番号を押すと、その画像(ファイル)にスキップしてスライドショー再生が始まります。
- ご自身で作成したメディアの場合、同じメディア内にある画像カテゴリーのフォルダーリスト及びファイルリストの表示順に従い、フォルダー番号とファイル番号(いずれも通し番号)が割り当てられます(フォルダー名、ファイル名の先頭に表示されます)。カーソルがフォルダーリストにあるときはフォルダー選択、ファイルリストにあるときはファイル選択となりますので、表示を確認しながら数字ボタンで入力してください。

ヒント

- 1桁の数字はそのまま数字ボタンを押します。
- 0を入力するときは「0/10」を押します。
- 2桁以上の数字の場合、例えば15を入力するときは、「1」→「5」と順に数字ボタンを押す方法のほか、「10+」→「5」でも同様の操作ができます。また、25を入力するときは「10+」→「10+」→「5」、48のときは「10+」→「10+」→「10+」→「10+」→「8」でも入力可能です。

リピートモードを設定する

リモコン

リピート

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

0/10

10+

- リピートボタンを押すたびに、リピート：[シングル](再生中のファイルを繰り返し再生)→リピート：[フォルダ](再生中のフォルダーを繰り返し再生)→リピート：[オール](メディア内の同じカテゴリーの全ファイルを繰り返し再生)と切り換わり、さらにもう一度押すと、リピート：[オフ](リピート設定を解除)となります。

※設定可能なリピートモードはメディアにより異なる場合があります。

ワイプスタイルを変更する

リモコン

プログラム

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

0/10

10+

- 再生中にプログラムボタンを押すと、押すたびにワイプスタイル(画像切替スタイル)が変わります。
- 本機は全部で17種類のワイプスタイルがあります(ワイプなしを含む)。

※停止中(リスト画面表示中)に押すと、プログラム設定になりますのでご注意ください。

拡大・縮小表示する

リモコン

ズーム

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

0/10

10+

- ズームボタンを押すと、画像(ファイル)を拡大・縮小表示します。
- 押すたびに、「ズーム 2」→「ズーム 3」→「ズーム 4」と拡大率が大きくなり、さらに押すと「ズーム 1/2」→「ズーム 1/3」→「ズーム 1/4」と縮小率が変化します。もう一度押すと「ズーム：オフ」と表示されて通常の大きさに戻ります。
- 拡大表示中は、カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)で表示範囲を上下左右に動かすことができます。画像を動かした後は、しばらくすると次の画像にスキップしてスライドショー再生が始まります。

回転・反転表示する

リモコン

決定

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

0/10

10+

- 再生中にカーソルボタンを押すと、以下の操作ができます。
- カーソルボタン(▲)：画像(ファイル)を上下に反転します。
- カーソルボタン(◀)：画像(ファイル)を反時計まわりに90°ずつ回転します。
- カーソルボタン(▼)：画像(ファイル)を左右に反転します。
- カーソルボタン(▶)：画像(ファイル)を時計まわりに90°ずつ回転します。
- 回転・反転表示後は、しばらくすると次の画像(ファイル)にスキップしてスライドショー再生になります。

再生中の画像(ファイル)情報を表示する

リモコン

表示

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

0/10

10+

- 表示ボタンを押すと、再生中の画像(ファイル)情報を画面上部に表示します。
- 表示を消すには、もう一度表示ボタンを押してください。

CDrom

トラック 15 / 46

再生中の画像(ファイル)番号 / 総画像(ファイル)数

リピートモード

CX : リピートオフ

CD : フォルダリピート

00:00:00

C1 : シングルリピート

CA : リピートオール

プログラム再生をする

画像(ファイル)番号で再生順を指定して再生することができます。

1

停止中(リスト画面表示中)にプログラムボタンを押します。

●プログラム登録画面になり、1番目の登録部分が反転文字(黄色のカーソル)になります。

1	---	5	---	9	---	13	---
2	---	6	---	10	---	14	---
3	---	7	---	11	---	15	---
4	---	8	---	12	---	16	---

プログラム再生クリア

2

数字ボタンで1番目の画像(ファイル)番号を入力し、カーソルボタン(▼)を押します。

●カーソル(反転文字)が2番目の入力部分に移動します。

1	0010	5	---	9	---		---
2	---	6	---	10	---		---
3	---	7	---	11	---		---
4	---	8	---	12	---		---

プログラム再生

3

同様の手順で登録します。

●再生したい順番で、画像(ファイル)番号をすべて登録します。

●次の列に移動するときはカーソルボタン(▶/▲)で操作してください。

1	0010	5	---	9	---		---
2	---	6	---	10	---		---
3	---	7	---	11	---		---
4	---	8	---	12	---		---

プログラム再生

4

再生/一時停止ボタンを押すと、プログラム再生が始まります。

●カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)でカーソルを「再生」に合わせ、決定ボタンまたは再生/一時停止ボタンを押すことで、プログラム再生が始まります。

1	0027	5	0006	9	---	13	---
2	0018	6	0017	10	---	14	---
3	0003	7	0005	11	---	15	---
4	0012	8	---	12	---	16	---

プログラム再生クリア

リモコン

決定

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

0/10

10+

ヒント

- 画面の「クリア」を選んで決定ボタンを押すと、プログラム内容全体を一括して削除できます。
- プログラムの登録操作を途中で終了するときは、プログラムボタンを押してください。
- プログラム再生時はリピート再生となります。プログラム再生を終了するときは停止ボタンを押してください。
- 他のメディア再生に移ったときや電源を切ったときはプログラム設定が解除されます。

USBメモリーにファイルをコピーする

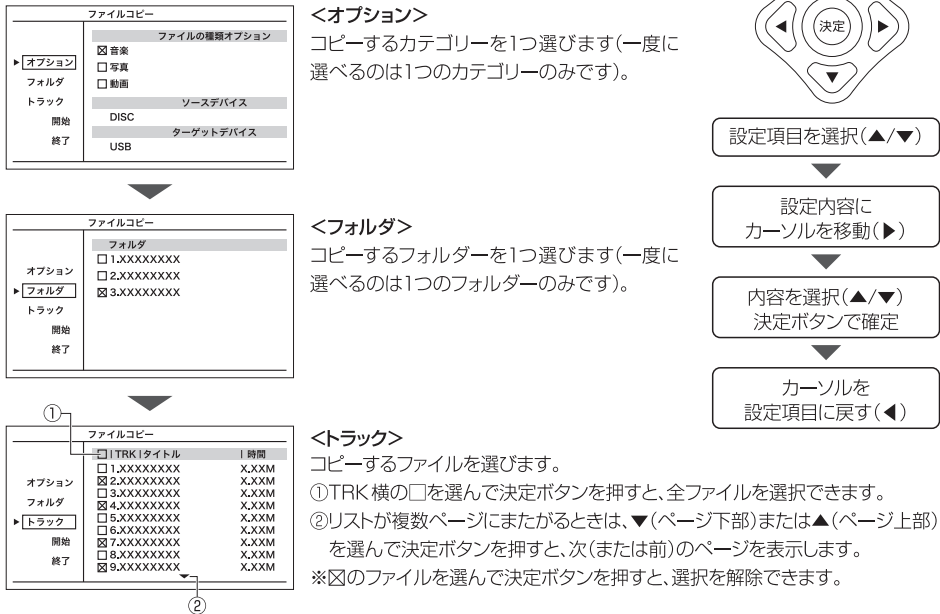
で自身で作成したディスクをコピー元として、USBメモリーにファイルを複製できます。
※DVD-Video(映画などの市販DVD)からコピーすることはできません。
※CD-DA(音楽などの市販CD)からコピーするときの手順は下記と異なります。P.30～31をご参照ください。

- 1 ディスクとUSBメモリーを本機に装着します。
●P.12を参照して正しく装着してください。

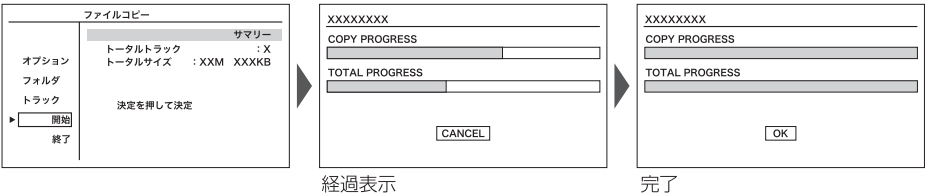
- 2 ディスクを再生中に、録音ボタンを押します。
●ファイルコピー画面が表示されます。



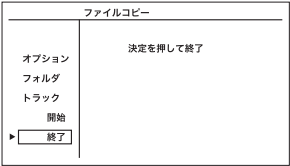
- 3 カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)と決定ボタンを使って、「オプション」、「フォルダ」、「トラック」を設定します。
●各項目で内容(トラック名など)を選んで決定ボタンを押すと、チェック(☑)が付きます。



- 4 「開始」を選んで決定ボタンを押します。
●コピーが始まると経過が表示され、完了すると「OK」が表示されます。
●「OK」が表示されたら、決定ボタンを押してください。



- 5 終了するときは、カーソルボタン(▼)で「終了」を選び、決定ボタンを押します。



●一連のコピー操作を途中で終了するときも、カーソルボタン(▼)で「終了」を選び、決定ボタンを押してください。

- ヒントとご注意
●コピーしたファイルは「CDROM」フォルダー内に収納されます。
●コピーしているときにカーソルボタン(◀/▶)で「CANCEL」を選び、決定ボタンを押すと、コピーがキャンセルされますが、その時点までのコピーファイルはUSBメモリーに残ります。

USBメモリーにCD-DAをコピーする

CD-DA(音楽などの市販CD)をUSBメモリーに複製するときには、以下の手順で操作してください。

- 1 CD-DAとUSBメモリーを本機に装着します。
●P.12を参照して正しく装着してください。

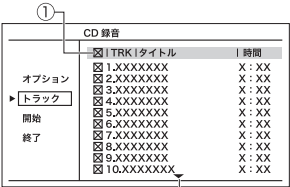
- 2 ディスクを再生中に、録音ボタンを押します。
●ファイルコピー画面が表示されます。



- 3 カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)と決定ボタンを使って、「オプション」と「トラック」を設定します。



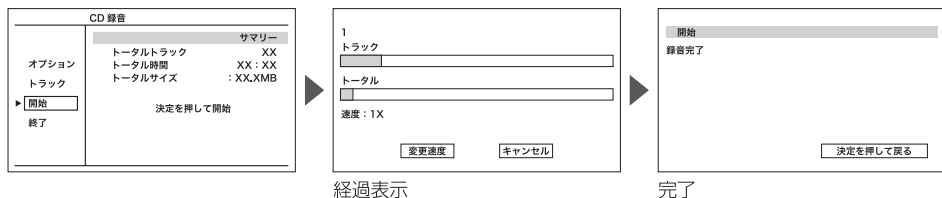
速度：コピーの速度を設定します(1X≦4X)
ビットレート：圧縮比率を設定します(128KBPS→160KBPS→192KBPS→256KBPS→320KBPS)
ID3 情報：ID3タグファイルを作成(☑する ☐しない)
プレイリスト：プレイリストを作成(☑する ☐しない)
※作成しないを選択したときは、既存のプレイリスト(フォルダー)に追加されます。
デバイス：本機ではUSBメモリー以外のメディアを選択できません。



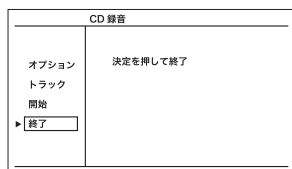
- ① TRK 横の ☑ を選んで決定ボタンを押すと、全ファイルを解除できます。
② リストが複数ページにまたがるときは、▼(ページ下部)または▲(ページ上部)を選んで決定ボタンを押すと、次(または前)のページを表示します。

USBメモリーにCD-DAをコピーする(つづき)

- 4** 「開始」を選んで決定ボタンを押します。
●コピーが始まると経過が表示されます。完了したら決定ボタンを押します。



- 5** 終了するときは、カーソルボタン(▼)で「終了」を選び、決定ボタンを押します。



- 一連のコピー操作を途中で終了するときも、カーソルボタン(▼)で「終了」を選び、決定ボタンを押してください。

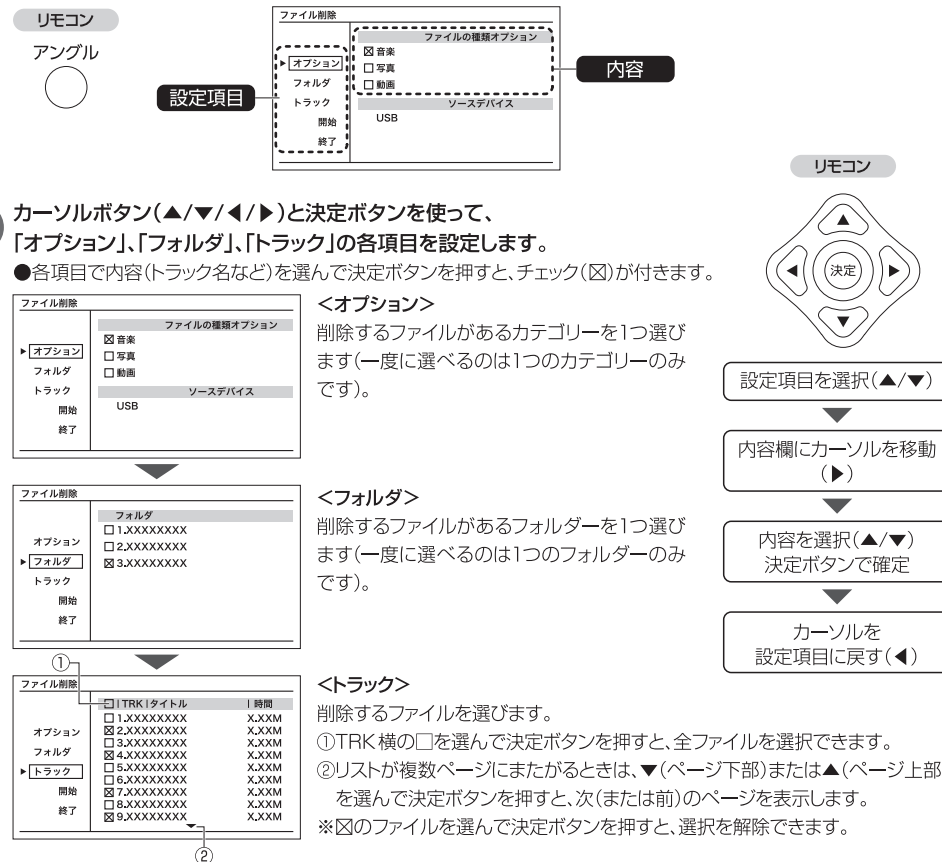
ヒントとご注意

- コピー速度の設定が1X(等倍速)のときは再生音が聞こえます。
- コピーしたファイルは「UNKNOWN ALB」フォルダー内に収納されます。
- コピーしているときにカーソルボタン(◀/▶)で「キャンセル」を選び、決定ボタンを押すと、コピーがキャンセルされますが、その時点までのコピーファイルはコピー先のメディアに残ります。

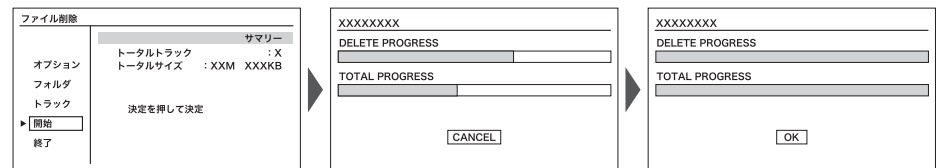
USBメモリーのファイルを削除する

USBメモリーのファイルは以下の方法で削除できます。

- 1** USBメモリーを本機に装着し、任意のファイルを再生します。
●P.12を参照して正しく装着し、再生してください。
※停止状態ではその後の操作ができませんのでご注意ください。
- 2** カーソルがフォルダーリストまたはファイルリストにある状態で、アングルボタンを押します。
●アングルボタンを押すと削除画面が表示されます。
※リスト画面のカテゴリリストにカーソル(黄色の枠)がある状態では操作できませんのでご注意ください。

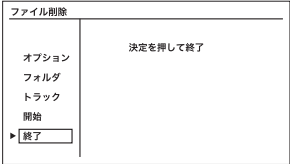


- 4** 「開始」を選んで決定ボタンを押します。
●削除が始まると経過が表示され、完了すると「OK」が表示されます。
●「OK」が表示されたら、決定ボタンを押してください。



USBメモリーのファイルを削除する(つづき)

5 終了するときは、カーソルボタン(▼)で「終了」を選び、決定ボタンを押します。



●一連の削除操作を途中で終了するときも、カーソルボタン(▼)で「終了」を選び、決定ボタンを押してください。

ヒントとご注意

- 削除したファイルは復元できませんので、十分ご注意ください。
- 削除しているときにカーソルボタン(◀/▶)で「CANCEL」を選び、決定ボタンを押すと、削除がキャンセルされます。ただし、その時点までに削除されたファイルは復元されませんのでご注意ください。
- フォルダー内のすべてのファイルを削除すると、フォルダー自体も削除されます。

設定メニュー

基本操作

設定メニューでは、本機の機能や映像・音声の調整などができます。以下の手順を参考にしながら操作してください。

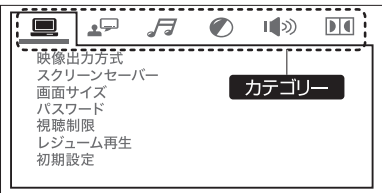
1 設定ボタンを押します。
●設定メニュー画面が表示されます。

リモコン



設定

設定メニュー画面

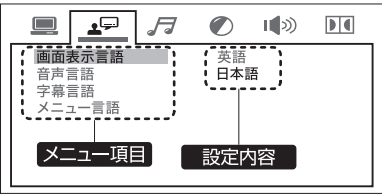


2 カーソルボタン(◀/▶)でカテゴリーを選び、カーソルボタン(▼)を押します。

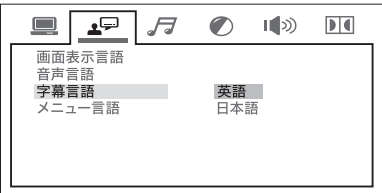
リモコン



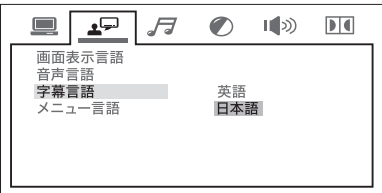
●カーソル(▼)を押すと、カーソル(黄色の帯)がメニュー項目に移動し、選択中の項目の設定内容が表示されます(設定内容のうち、現在の設定は紫色の文字で表示されます)。



3 カーソルボタン(▲/▼)で設定したいメニュー項目を選び、決定ボタンまたはカーソルボタン(▶)を押します。
●決定ボタンまたはカーソル(▶)を押すと、カーソル(黄色の帯)が設定内容に移動します。



4 カーソルボタン(▲/▼)で設定したい内容を選び、決定ボタンを押します。
●決定ボタンを押すと、設定が確定します。確定後は、カーソルがメニュー項目に戻ります。



カテゴリー	メニュー項目
 システムセットアップ	映像出力方式、スクリーンセーバー、画面サイズ、パスワード、視聴制限、レジューム再生、初期設定
 言語設定	画面表示言語、音声言語、字幕言語、メニュー言語
 デジタル音声設定	オーディオソース
 映像設定	HDMI解像度、ブライトネス、コントラスト、色合い、色調、シャープネス
 ダウンミックス設定	ダウンミックス
 ドルビー設定	ダイナミックレンジ、デュアルモノラル

各メニュー項目の詳細は、P.35～39をご参照ください。

設定メニュー(つづき)

設定メニューの内容

システムセットアップの内容

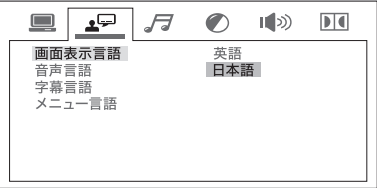
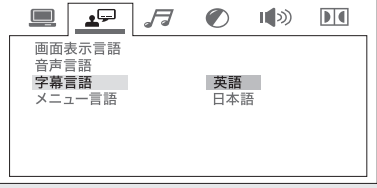
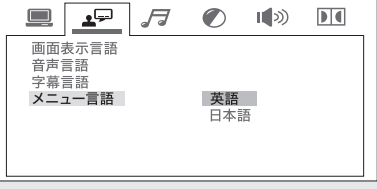
メニュー項目	設定内容	
映像出力方式 スクリーンセーバー 画面サイズ パスワード 視聴制限 レジューム再生 初期設定	映像出力方式 テレビやモニターに映像・音声を出力する際の出力方式を選びます。 ※PALを選ぶと画面が乱れます。NTSCまたは自動に設定してください。	• NTSC ★ • PAL • 自動 (★: 初期設定)
映像出力方式 スクリーンセーバー 画面サイズ パスワード 視聴制限 レジューム再生 初期設定	スクリーンセーバー ディスプレイの画面焼き付きを防ぎます。 ※通常は「オン」でお使いください。	• オン ★ • オフ (★: 初期設定)
映像出力方式 スクリーンセーバー 画面サイズ パスワード 視聴制限 レジューム再生 初期設定	画面サイズ 映像表示モードを設定します。 • 4 : 3PS (パンスカン) … 16 : 9 の映像は左右が切れた映像で表示されます。 • 4 : 3LB (レターボックス) … 16 : 9 の映像は上下に帯がある映像で表示します。 • 16 : 9 … モニター全体に映像を映します。	• 4 : 3PS • 4 : 3LB • 16 : 9 ★ (★: 初期設定)
映像出力方式 スクリーンセーバー 画面サイズ パスワード 視聴制限 レジューム再生 初期設定	パスワード 任意の4桁の数字(初期設定は「0000」) 視聴制限を変更したいときのロック解除/再ロックを行います。 パスワードを変更するときもここで設定します。 【ロックの解除】 数字ボタンで既存のパスワード(初期設定は「0000」)を入力し、決定ボタンを押す(鍵マークが開きます)。その後、視聴制限を変更します。 【再ロック】 数字ボタンでパスワードを入力し、決定ボタンを押す(鍵マークが閉まります)。 【パスワードの変更】 ロックを解除した後、新しいパスワードを入力して決定ボタンを押すと、設定が変更されます。 設定メモ	

システムセットアップの内容

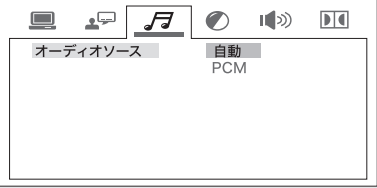
メニュー項目		設定内容																		
映像出力方式 スクリーンセーバー 画面サイズ パスワード 視聴制限 レジューム再生 初期設定 1 KID SAFE 2 G 3 PG 4 PG13 5 PG-R 6 R 7 NC-17 8 ADULT		視聴制限 ディスクに設定されたペアレンタルコントロールにもとづいて、視聴制限(再生不可にする)を有効にします。変更するときは事前に「パスワード」の項を参照してロックを解除してください。また、設定後はパスワードを再度ロックしてください。 <table><tr><th>設定</th><th>内容</th></tr><tr><td>KID SAFE</td><td>子供向け。安心して見せられる</td></tr><tr><td>G</td><td>一般向け</td></tr><tr><td>PG</td><td>保護者の同伴が必要</td></tr><tr><td>PG13</td><td>13歳未満は保護者の同伴が必要</td></tr><tr><td>PG-R</td><td>15歳未満は保護者の同伴が必要</td></tr><tr><td>R</td><td>17歳未満の場合は、保護者の同伴が必要</td></tr><tr><td>NC-17</td><td>17歳未満の場合は視聴不可</td></tr><tr><td>ADULT</td><td>成人向けを含めてディスク内容の制限なし</td></tr></table> 視聴制限が設定されていないディスクは、再生不可にすることができません。また、視聴制限レベルは国により異なります。	設定	内容	KID SAFE	子供向け。安心して見せられる	G	一般向け	PG	保護者の同伴が必要	PG13	13歳未満は保護者の同伴が必要	PG-R	15歳未満は保護者の同伴が必要	R	17歳未満の場合は、保護者の同伴が必要	NC-17	17歳未満の場合は視聴不可	ADULT	成人向けを含めてディスク内容の制限なし
設定	内容																			
KID SAFE	子供向け。安心して見せられる																			
G	一般向け																			
PG	保護者の同伴が必要																			
PG13	13歳未満は保護者の同伴が必要																			
PG-R	15歳未満は保護者の同伴が必要																			
R	17歳未満の場合は、保護者の同伴が必要																			
NC-17	17歳未満の場合は視聴不可																			
ADULT	成人向けを含めてディスク内容の制限なし																			
映像出力方式 スクリーンセーバー 画面サイズ パスワード 視聴制限 レジューム再生 初期設定 オン オフ		レジューム再生 一度再生したことがあるメディアを装着すると、前回の続きから再生を始めます。 ※使用状況により機能しないことがあります。 • オン ★ • オフ (★: 初期設定)																		
映像出力方式 スクリーンセーバー 画面サイズ パスワード 視聴制限 レジューム再生 初期設定 リセット		初期設定 本機の各種設定を工場出荷時の状態に戻します。 ※ただし、パスワードと視聴制限の設定は初期化されません。																		

設定メニュー(つづき)

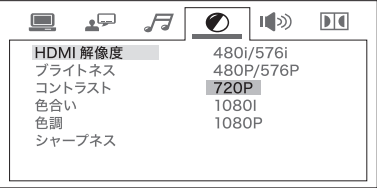
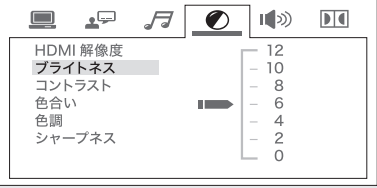
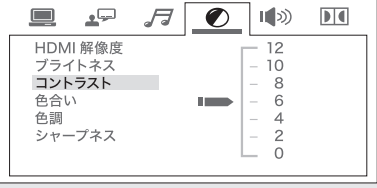
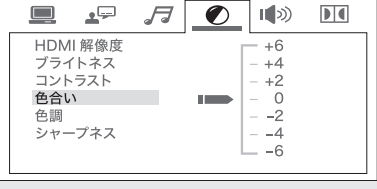
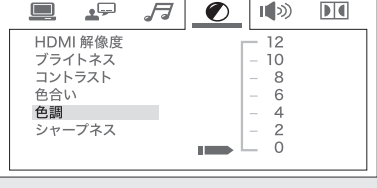
言語設定の内容

メニュー項目	設定内容
 画面表示言語 音声言語 字幕言語 メニュー言語 英語 日本語	画面表示言語 設定メニューの表示言語を設定します。 - 英語 - 日本語 ★ (★: 初期設定)
 画面表示言語 音声言語 字幕言語 メニュー言語 英語 日本語	音声言語 音声の言語を設定します。 - 英語 ★ - 日本語 (★: 初期設定)
 画面表示言語 音声言語 字幕言語 メニュー言語 英語 日本語	字幕言語 字幕の表示言語を設定します。 - 英語 ★ - 日本語 (★: 初期設定)
 画面表示言語 音声言語 字幕言語 メニュー言語 英語 日本語	メニュー言語 メニューの表示言語を設定します。 - 英語 ★ - 日本語 (★: 初期設定)

デジタル音声の内容

メニュー項目	設定内容
 オーディオソース 自動 PCM	オーディオソース デジタル音声の伝送方式を設定します。 - 自動 ★ - PCM (★: 初期設定)

映像設定の内容

メニュー項目	設定内容
 HDMI 解像度 ブライトネス コントラスト 色合い 色調 シャープネス 480i/576i 480P/576P 720P 1080i 1080P	HDMI解像度 HDMI端子から出力される映像の解像度を設定します。 480i/576i 480P/576P 720p ★ 1080 i 1080 P (★: 初期設定)
 HDMI 解像度 ブライトネス コントラスト 色合い 色調 シャープネス 12 10 8 6 4 2 0	ブライトネス ブライトネス(輝度)を調節します。 0~12 (初期設定は「6」)
 HDMI 解像度 ブライトネス コントラスト 色合い 色調 シャープネス 12 10 8 6 4 2 0	コントラスト コントラストを調節します。 0~12 (初期設定は「6」)
 HDMI 解像度 ブライトネス コントラスト 色合い 色調 シャープネス +6 +4 +2 0 -2 -4 -6	色合い 色合いを調節します。 +6~-6 (初期設定は「0」)
 HDMI 解像度 ブライトネス コントラスト 色合い 色調 シャープネス 12 10 8 6 4 2 0	色調 色調を調節します。 0~12 (初期設定は「0」)

設定メニュー(つづき)

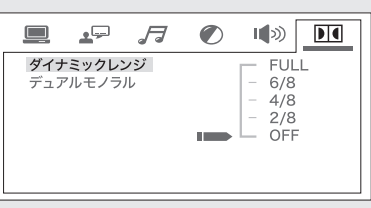
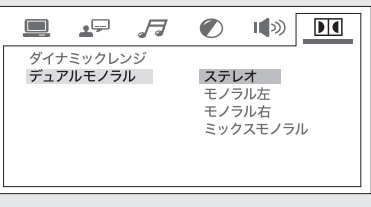
映像設定の内容(つづき)

メニュー項目	設定内容
	シャープネス シャープネスを調節します。 0～8 (初期設定は「0」)

ダウンミックスの設定内容

メニュー項目	設定内容
	ダウンミックス 5.1chなどマルチチャンネルの音声をフロント2チャンネルに変換して出力する際の方法を設定します。 LT/RT：ダウンミックスモードで出力 ステレオ：通常のステレオ出力 • LT/RT • ステレオ ★ (★：初期設定)

ドルビー設定の内容

メニュー項目	設定内容
	ダイナミックレンジ ドルビーデジタル音声の強弱の幅を調節します。 FULL：レベル調節を最大限にする OFF：レベル調節をしない • FULL • 6/8 • 4/8 • 2/8 • OFF ★ (★：初期設定)
	デュアルモノラル デュアルモノラル(スピーカー出力)の設定をします。 ステレオ：ステレオ出力 モノラル左：左チャンネルの音を左右スピーカーで出力 モノラル右：右チャンネルの音を左右スピーカーで出力 ミックスモノラル：左右チャンネルの音をミックスしてモノラル出力 • ステレオ ★ • モノラル左 • モノラル右 • ミックスモノラル (★：初期設定)

故障かなと思ったら

症状	確認事項
電源が入らない	●本機の電源プラグが家庭用コンセントに正しく接続されていますか(ゆるんでいませんか)。
リモコンが効かない	●本機とリモコンの間に障害物があったり、離れすぎていませんか。 ●リモコンの信号送信部が汚れていたり、本機の信号受信部にほこりなどがたまっていませんか。 ●リモコンの電池残量が少なくなっていないですか。
テレビに映像が表示がされない	●HDMI接続コードまたはRCA接続コードが本機及びテレビに正しく接続されていますか(ゆるんでいませんか)。 ●テレビ側で入力ソースが正しく設定されていますか(他の入力ソースになっていませんか)。 ●HDMI接続の場合、付属のコードを使っていますか(付属以外のコードをお使いの場合、正しく認識されないことがあります)。
ディスクの再生が始まらない またはすぐに中断する	●ディスクは正しくセットされていますか。 ●本機の規格に対応したディスクをお使いですか。 ●ファイル形式は本機の規格に対応していますか。 ●ディスクに汚れやキズがありませんか。 ●音量が最小または消音になっていませんか。
USBメモリーの再生が始まらない	●本機のUSBポートにしっかりと差し込まれていますか。 ●本機の規格に対応したUSBメモリーをお使いですか。 ●ファイル形式は本機の規格に対応していますか。 ●音量が最小または消音になっていませんか。
映像が切れる・黒枠が出る	●画面サイズの設定は正しいですか。
画像の表示が遅い	●ファイルサイズが大きすぎませんか(画像サイズが大きかったり、高解像度の画像は読み込みに時間がかかります)。
音声言語や字幕の言語が変更できない	●DVDに変更したい音声言語や字幕言語が含まれていますか。 ●映画などの市販DVDの場合は、ディスク内のメニューで各種言語を設定するものもあります。DVDのパッケージなどでご確認ください。
操作が急にできなくなる	●本機及びテレビの電源を切り、しばらくしてから電源を入れ直してみてください。

お手入れのしかた

キャビネット

お手入れを始める前に必ず電源を切り、家庭用コンセントから電源プラグを抜いてください。

- 本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

ディスク

- 本機にセットする前に、再生面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布で拭きとってください。
- 必ず内側から外側に放射状に拭いてください。
- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーやスプレー式の静電気防止剤は絶対に使わないでください。



USBメモリー

- USBメモリーの接続部に指紋やほこりなどの汚れが付くと、再生できなくなったり故障の原因となります。このようなときは柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品、及び静電気防止剤は絶対に使用しないでください。
- 以下の場所での保管は避け、キャップカバーやカードケースなどが付属しているときは必ずそれらを使って保管してください。
 - ・高温の場所や直射日光の当たる場所 ・極端に温度の低い場所
 - ・浴室や加湿器の近くなど湿度の高い場所 ・ほこりや砂塵など浮遊物が多い場所
- USBメモリーに付属する取扱説明書や注意書きもあわせてご確認ください。

主な仕様

電源	AC100V 50/60Hz
	リモコン：DC3V(単4形乾電池×2本 別売)
定格消費電力	11W
テレビ信号方式	NTSC/PAL
接続端子	HDMI出力端子、RCA出力端子(映像／音声)、USB入力端子
対応ディスク	DVD、DVD-R、DVD-RW、CD、CD-R、CD-RW
	対応フォーマット：DVD-Video、DVD-VR(CPRM)、VCD、CD-DA、MP3、MPEG-4(AVI形式 720×480/576対応)、JPEG
USBメモリー	USB2.0 FAT32 最大32GB
	対応フォーマット：MPEG-4(AVI形式 720×480/576対応)、MPG、MP3、WMA、JPEG
動作環境	温度：0～40℃ 湿度：20～75%(結露なしにて)
外形寸法	幅225×高さ50×奥行195mm(突起物含まず)
質量	約700g
付属品	リモコン、HDMI接続コード(約150cm)、RCA接続コード(約118cm)、保証書付取扱説明書

※上記のメディア及びフォーマット規格に適合していても、メディア作成時の状態などにより、再生できない場合があります。
 ※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
 ※本書のテレビ表示図版は加工しており、実際の画面と異なります。また、その他の図版についても、実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項を確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは**：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は**：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は**：修理によって機能が維持できる場合は、お客様ののご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。